

## 【 府中市 】 胃がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt; 国の指針に基づく胃がん検診の実施状況 &gt;

対象年齢 (40歳以上)	している
検査方法 (胃部X線検査)	している

## &lt; 住民の検診受診状況 &gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	68,069	70,399	138,468
【東京都調査による対象者率(市町村部): 57.8%】			
実際の受診者数	1,430	2,215	3,645

## &lt; 国の指針に基づくもの以外の実施状況 &gt;

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

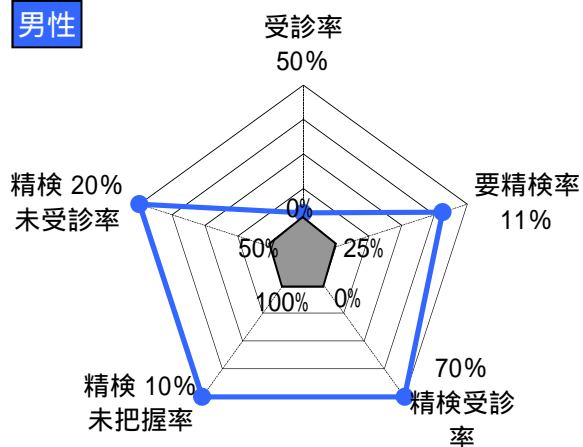
## &lt; 区市町村の受診率向上(精検含む)体制 &gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

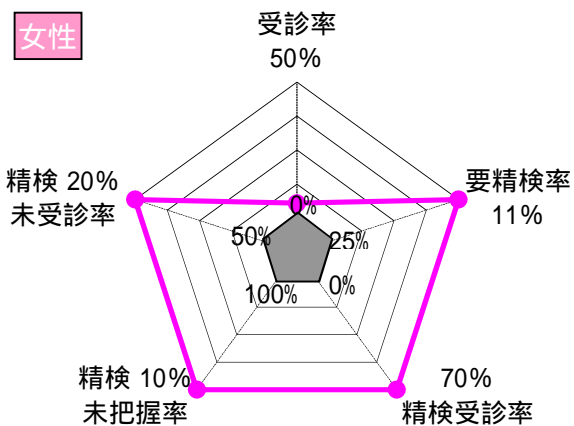
## &lt; がん検診の質を評価する指標(プロセス指標) &gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	3.6%	5.4%	4.6%
要精検率	11%以下	13.6%	4.2%	7.9%
精検受診率	70%以上	85.1%	80.4%	83.6%
精検未把握率	10%以下	9.2%	9.8%	9.4%
精検未受診率	20%以下	5.6%	9.8%	7.0%
陽性反応適中度	1.0%以上	5.1%	3.3%	4.5%
がん発見率	0.11%以上	0.70%	0.14%	0.36%

## 男性



## 女性



## 【評価結果】

## &lt; 受診率 &gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考に、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt; 要精検率 &gt;

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

## 【 府中市 】 肺がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt; 国の指針に基づく肺がん検診の実施状況 &gt;

対象年齢 (40歳以上)	している
検査方法 (胸部X線検査及び喀痰細胞診)	している

## &lt; 住民の検診受診状況 &gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	68,069	70,399	138,468
【東京都調査による対象者率(市町村部): 64.5%】			
実際の受診者数	202	197	399

## &lt; 国の指針に基づくもの以外の実施状況 &gt;

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

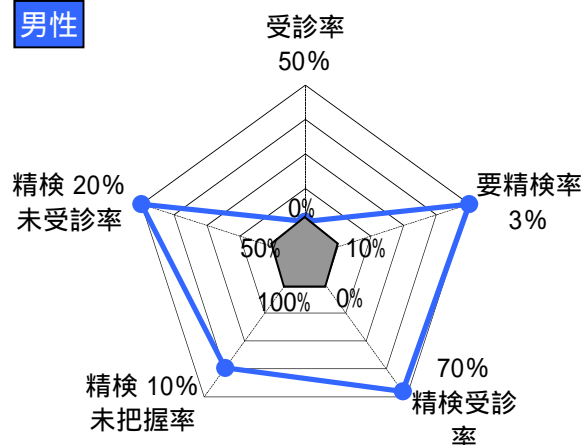
## &lt; 区市町村の受診率向上(精検含む)体制 &gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

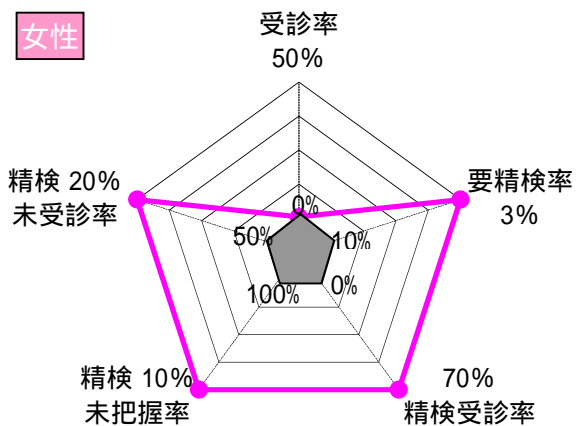
## &lt; がん検診の質を評価する指標(プロセス指標) &gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	0.5%	0.4%	0.4%
要精検率	3%以下	1.5%	1.0%	1.3%
精検受診率	70%以上	66.7%	100.0%	80.0%
精検未把握率	10%以下	33.3%	0.0%	20.0%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.3%以上	0.0%	0.0%	0.0%
がん発見率	0.03%以上	0.00%	0.00%	0.00%

## 男性



## 女性



## 【評価結果】

## &lt; 受診率 &gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt; 精検受診率 &gt;

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

## &lt; 精検未把握率 &gt;

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

## 【 府中市 】 大腸がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt; 国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況 &gt;

対象年齢 (40歳以上)	している
検査方法 (便潜血検査(二日法))	している

## &lt; 住民の検診受診状況 &gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	68,069	70,399	138,468
【東京都調査による対象者率(市町村部): 62.0%】			
実際の受診者数	2,618	4,382	7,000

## &lt; 国の指針に基づくもの以外の実施状況 &gt;

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

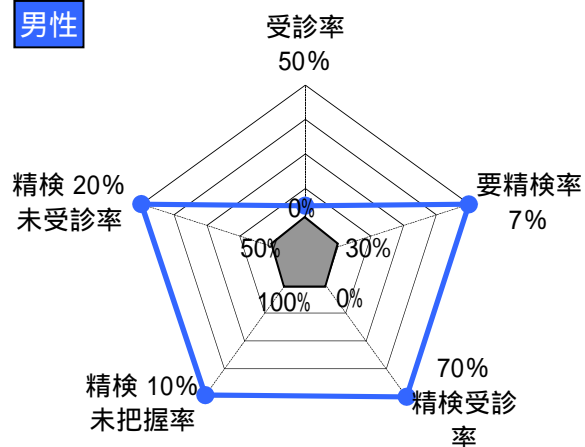
## &lt; 区市町村の受診率向上(精検含む)体制 &gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

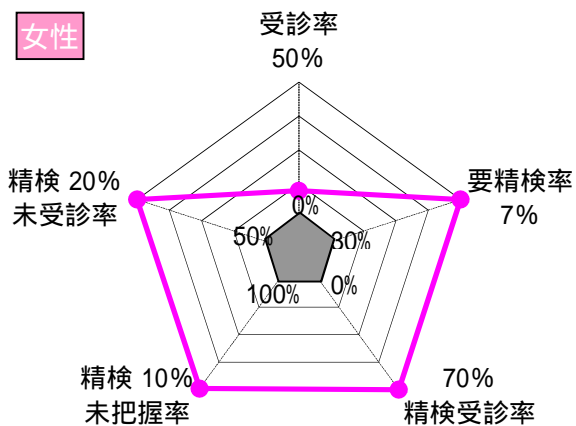
## &lt; がん検診の質を評価する指標(プロセス指標) &gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	6.2%	10.0%	8.2%
要精検率	7%以下	7.1%	5.6%	6.2%
精検受診率	70%以上	80.5%	78.1%	79.2%
精検未把握率	10%以下	11.4%	10.9%	11.1%
精検未受診率	20%以下	8.1%	10.9%	9.7%
陽性反応適中度	1.9%以上	6.5%	4.9%	5.6%
がん発見率	0.13%以上	0.46%	0.27%	0.34%

## 男性



## 女性



## 【評価結果】

## &lt; 受診率 &gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt; 要精検率 &gt;

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

## &lt; 精検未把握率 &gt;

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

## 【 府中市 】 子宮頸がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt; 国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況 &gt;

対象年齢 (20歳以上:隔年)	している
検査方法 (細胞診)	している

## &lt; 住民の検診受診状況 &gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		102,865	
【東京都調査による対象者率(市町村部): 67.1%】			
実際の受診者数		6,624	

## &lt; 国の指針に基づくもの以外の実施状況 &gt;

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

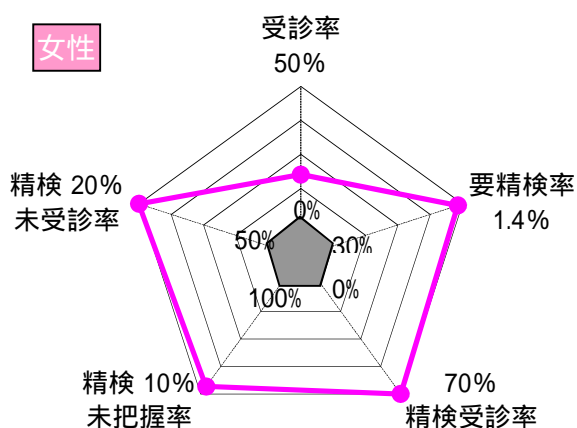
## &lt; 区市町村の受診率向上(精検含む)体制 &gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

## &lt; がん検診の質を評価する指標(プロセス指標) &gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		17.6%	
要精検率	1.4%以下		2.4%	
精検受診率	70%以上		78.9%	
精検未把握率	10%以下		16.1%	
精検未受診率	20%以下		5.0%	
陽性反応適中度	4.0%以上		2.5%	
がん発見率	0.05%以上		0.06%	

## 【評価結果】



## &lt; 受診率 &gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt; 要精検率 &gt;

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

## &lt; 精検未把握率 &gt;

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために「要精検」となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

## 【 府中市 】 乳がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt; 国の指針に基づく乳がん検診の実施状況 &gt;

対象年齢 (40歳以上:隔年)	している
検査方法 (視触診及びマンモグラフィ)	している

## &lt; 住民の検診受診状況 &gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		70,399	
【東京都調査による対象者率(市町村部): 73.1%】			
実際の受診者数		6,426	

## &lt; 国の指針に基づくもの以外の実施状況 &gt;

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

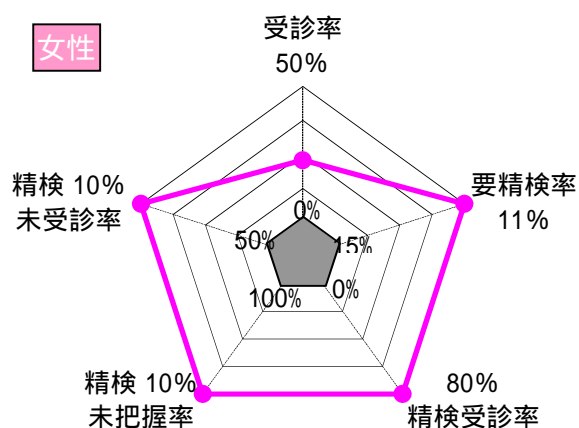
## &lt; 区市町村の受診率向上(精検含む)体制 &gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

## &lt; がん検診の質を評価する指標(プロセス指標) &gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		22.9%	
要精検率	11%以下		9.2%	
精検受診率	80%以上		91.6%	
精検未把握率	10%以下		5.1%	
精検未受診率	10%以下		3.4%	
陽性反応適中度	2.5%以上		3.2%	
がん発見率	0.23%以上		0.30%	

## 【評価結果】



## &lt; 受診率 &gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt; 2年連続受診者未把握 &gt;

2年連続受診者が把握・集計されていません。正確な受診率や受診者の特性を把握するためには、2年連続受診者の集計が必要です。